

(様式3)

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：平成28年3月

1. 対象事業	高松市東部・西部処理区合流式下水道緊急改善計画
2. 実施主体名称	高松市
3. 計画期間	平成16年度～平成25年度
4. 対象事業の進捗状況	<p>下記の内容について、当初計画どおりに実施した。</p> <p>[東部処理区]</p> <p>①遮集量の増強</p> <ul style="list-style-type: none">・南部ポンプ場の遮集管を増設した。 <p>②雨水滞水池の整備</p> <ul style="list-style-type: none">・中部バイパス第1幹線の貯留管を整備した。・中部バイパス第2幹線の貯留管を整備した。・木太西幹線の貯留管を整備した。 <p>③スクリーン等の設置</p> <p>雨水吐(3箇所)を対象にきょう雑物除去設備を整備した。 (水面制御装置2箇所、スワール分水槽1箇所)</p> <p>南部ポンプ場、福岡ポンプ場のスクリーン目幅縮小は、改築更新時に実施する。</p> <p>[西部処理区]</p> <p>①遮集量の増強</p> <ul style="list-style-type: none">・雨水吐(2箇所)を対象に堰の嵩上げを行った。 <p>②雨水滞水池の整備</p> <ul style="list-style-type: none">・栗林宮脇幹線を有効利用した貯留管を整備した。・処理場内雨水滞水池を整備した。 <p>③スクリーン等の設置</p> <p>雨水吐(2箇所)を対象にきょう雑物除去設備を整備した。 (水面制御装置2箇所)</p> <p>西部ポンプ場、宮脇ポンプ場のスクリーン目幅縮小は、改築更新時に実施する。</p>

5. 目標の達成状況と達成の見通し

当初計画において予定した対策施設はすべて整備しており、近年の降雨傾向を踏まえた代表的な降雨（2012年降雨：年間降雨量1,020.5mm/年、総降雨日数109日）において各種改善目標を達成している。

処理区	改善項目	評価指標	対策前	改善目標	事後評価 (平成27年度)
東部 処理区	汚濁負荷量の削減	放流汚濁負荷量 削減達成率	0%	100%	190%
	公衆衛生上の 安全確保	未処理下水放流回数 削減達成率	20%	100%	114%
	きょう雑物の削減	雨水吐対策率	33%	100%	100%
西部 処理区	汚濁負荷量の削減	放流汚濁負荷量 削減達成率	0%	100%	109%
	公衆衛生上の 安全確保	未処理下水放流回数 削減達成率	0%	100%	114%
	きょう雑物の削減	雨水吐対策率	0%	100%	100%

6. 対象事業の整備効果の発現状況等

平成27年度（対策後）にモニタリング調査を実施したところ、汚濁負荷量は調査降雨において、対策前に対し109～190%の削減が確認され、これは当初計画における削減率100%を上回っている。また、対策前では雨水吐から未処理放流していたと想定される管内流量でも遮集量の増強効果により未処理放流されずに東部下水処理場及び香東川浄化センターへ流下していた。以上より、確実に改善対策の整備効果を発現している。

7. 事業の効率化に関する取り組み状況

[東部処理区]

・浸水対策用の中部バイパス第1・第2幹線を貯留施設として活用することにより、対策施設建設費を大幅に削減した。

[西部処理区]

・香東川浄化センター内にある雨水滞水池及び栗林宮脇幹線を貯留施設として活用することにより、対策施設建設費を大幅に削減した。

8. 今後の方針

事業の完了により、現状で改善目標は達成済みである。今後は、雨水流出抑制対策である貯留・浸透施設の整備等を進めていく予定である。